

令和7年度上大久保中学校だより

上中だより

第2号

令和7年4月28日(月)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL.855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「初夏到来!!~いろいろ調べてみました!!~」

校長 たかく まさゆき 高久 正行

始業式・入学式の満開の桜もすっかり葉桜となり、初夏を感じる緑がまぶしい季節となりました。先日テレビで、この時季に降る雨のことを「愉英雨(ゆえいゆ)」と呼ぶということを紹介されていました。「愉英雨」の「英」は花を意味して、春に咲く花々を愉しませ、喜ばせる雨のことを言います。雨は苦手と考える人もいるかもしれませんが、植物にとっては恵みの雨、ひと雨ごとに喜びの花を咲かせます。この「愉英雨」のおかげで、花がとてもきれいに咲き誇っていくことになるわけです。時間があれば公園等に出かけて、花に癒されるのもいいかもしれませんね。

学校では、授業が本格的に始まり、部活動も1年生の本入部を経て新たなチームとして始動しました。登校時の元気な挨拶、教室や校庭など至る所から聞こえる先生や生徒の声を聞くと、良いスタートを切ることができたのではないかと思います。大型連休が明けると、課題テスト、陸上部の市通信陸上競技大会、2年生の管弦楽教室、3年生の修学旅行、7組のふれあい夢ファーム、月末には市中学校総合体育大会を控えています。それに加え、本年度は、6月の体育祭に向けた取組も加わります。体調管理をしっかり行いながら、先の見通しをもち、一つ一つ着実かつ確実に取り組んでいってほしいと思っています。

最近、日本に観光に来た外国の方々への日本に対する印象についての記事をよく見ます。「食べ物の美味しさ」「コンビニエンスストアの品数の多さ」「道にゴミが落ちていないこと」「トイレの機能の多さ」「日本人が親切であること」等が複数挙げられていました。普段住んでいる我々からすると、当たり前なことと思うことばかりかもしれませんが、他の視点を参考にすることで、改めて日本という国の特色であったり良いところだったりを知ることができます。もし興味があれば、ぜひ外国の方々の実際のコメントを調べてみてください。きっと日本と外国の文化や国民性の違いを感じられるのではないかと思います。

そして、5月1日は「さいたま市民の日」で、市内各所で様々なイベントが企画されています。これらのイベント等を通じて、さいたま市の魅力を感じたり、新たな発見をしたりしながら自分の住む街について知る絶好の機会になります。そこで、今回、「桜区」について調べてみました。桜区という名前は、荒川河川敷の秋ヶ瀬地区(田島ヶ原)に日本でも最大級のサクラソウ自生地があることに由来していることはよく知られています。その桜区は大久保地区と土合地区の一部からなっていますが、大久保地区の由来は、明治二十二年に九つの村が合併して大久保村をつくったもので、新村名は上大久保村と下大久保村が九つの中で大きな村なので、「上」・「下」の文字を取って「大久保」としたということ、土合地区の由来は、明治二十二年に十一の村が合併したこと、十と一を合わさって「土合村」となったそうです。また、上中のある大久保という地区は、昔、「大窪」と書いたようで、大宮台地と武蔵野台地の間の広い窪地にあったようです。実際、上中の東側にある「上峰ふれあい公園」は小高いところにありますので、まさに上中は、NHKの番組「ブラタモリ」風に言うと、「台地の『へり』」にあることがわかります。地形をそのまま「窪」という字に充てていた歴史が読み取れます。参考文献として使用した「桜区 魅力発見! ガイドブック(令和6年3月発行)」を見ると、エリアごとのマップ&ウォーキングコースも掲載されていますので、初夏の風を感じながら桜区内の名所や史跡をたどる街歩きができれば楽しいだろうなと思いました。桜区に関する歴史や見どころ等、中学生にもぜひ知ってもらいたい情報がありましたら、ぜひ中学校にご提供いただけたら幸いです。

気象庁と環境省は、4月23日から熱中症への注意を呼びかける「熱中症警戒アラート」と、広域的に過去に例のない危険な暑さが予想される時に出す「熱中症特別警戒アラート」の今年の運用を始めるとの発表がありました。(熱中症警戒アラートは、気温や湿度などから算出する「暑さ指数」が33以上と予測される地域に環境省と気象庁が発表し、去年の発表は全国であわせて1722回出されました。一方、熱中症特別警戒アラートは昨年からの運用されていますが、まだ発表されたことはないようです。)

早くも4月に真夏日や夏日を記録する日があるなど、今年も暑くなりそうな予感を感じさせます。実際、登校時の様子を見ると、上着を着用しない生徒もかなり増えてきました。気象庁によると、去年の夏の日本の平均気温は平年を1.76度上回り、おととしの夏と並び2年連続で統計開始(1898年)以来「最も暑い夏」だったとのこと...今年5月の平均気温も平年並みか高く、6~8月は全国的に平年より高い予想が出されています。

『熱中症ゼロへ』というサイトでは、「体が暑さに慣れること(暑熱順化)について知り、暑くなる前から熱中症の対策を行いましょう。」と書いてありました。

その対策として、

- ・実際に気温が上がり、熱中症の危険が高まる前に、無理のない範囲で汗をかくこと
- ・日常生活の中で、運動や入浴をすることで、汗をかき、体を暑さに慣れさせること
- ・暑熱順化には個人差があるので、数日から2週間程度かかること

が挙げられていましたので、ぜひ参考にしてください。

